

第3回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月13日（日）

17時00分から17時20分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

17時00分開会

【災害対策本部】

- 関係機関からのリエゾンの紹介。

【盛岡气象台次長】

- 台風第19号の状況について報告。

【資料を基に説明】

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。

【資料を基に説明】

【各本部員等】

- 各部局及び関係機関の対応状況等について報告。

・保健福祉部長

宮古市で孤立状態となっている知的障がい者の社会福祉施設わかたけ園、はまゆり園は15時現在で固定電話と電気が停止。携帯電話で確認したところ、2～3日分の食糧と水あり。道路は寸断されているが、外部からの支援は受けられている。引き続き健康状態等確認し支援を進めていく。

医療機関に関しては、停電等解消されてきているので大きな被害はない。

透析医療機関について被害はない。患者の通院の支援をしているが、道路の寸断状況を確認しているところ。

DMA Tは明日現地の方で市町村を回って被害状況等を確認する。

・環境生活部長

断水933戸とあるが、宮古市からも戸数不明であるが断水ありとの報告を受けている。いずれの地区においても応急給水対応中である。

・政策地域部長

鉄道関係だが、三陸鉄道釜石～久慈間で路盤の流出や土砂の流入がある。引き続き

線路状況の確認を実施している。

J R 八戸線の県内被災部分だが、洋野町の陸中中野駅で土砂が流出をしており、ホームが一部陥落、陥没している。引き続き線路状況の確認を実施していく。

I G Rについては、被災情報は入っていない。

・ 陸上自衛隊岩手駐屯地

自衛隊全体として、本日16時に陸、海、空の統合任務部隊が編成された。これから全国運用が開始される。特に関東甲信越、福島県、宮城県の被災状況が非常に激しいため、そちらの方に全国的に部隊が投入される形で動いている。

岩手県については、災害派遣任務中であるので、現体制を維持したまま対応していきたい。それぞれ市町村のニーズを確認中だが、状況によって部隊を投入していきたい。

・ 沿岸広域振興局長

J R 釜石線が17時頃から運行を始めるとの連絡あり。

・ 県北広域振興局長

今回の農林水産物の情報を収集中。りんごの落果被害が心配されたが、今回意外と二戸地域での風の被害は大きくない。現地に職員が赴いた結果、落果被害はほとんどないことを確認した。

・ 県南広域振興局長

奥州市江刺でりんごの落果被害が広範囲で確認された。主力のふじを中心に平場で2～3割の落果被害、山辺ではそれより少ない状況。

一関市、花巻市でも落下が確認されているが、程度は確認中。

【西島防災危機管理監】

○ 対応方針を報告。

【資料を基に説明】

【文化スポーツ部長】

○ ラグビー（の試合が中止になり）残念でしたけれども、カナダチームに今日朝から釜石市内の千鳥町の泥の掻き出しをやっていただいた。またナミビアの選手、スタッフの皆さんも被災地で作業しているところにバスで回り激励していただいた。彼らもこのような状況で残念だったと思うが、早速被災地に貢献いただいた。

ボランティア用に用意していたパン400個は釜石市内の避難所に配布した。

【達増本部長（知事）】

リエゾンの皆様にご出席いただき御協力に感謝申し上げます。

これまでの被害調査に加え、私も陸上自衛隊のヘリコプターに乗せていただいて、横田指令ともども上空から宮古から釜石にかけての被災状況を直接確認してきた。

被災地では道路が冠水したところや、小さな土砂崩れがあちこちにあり、それぞれの箇所についてしっかり把握、確認してそれぞれにきちんと対応していくということが必要だと感じた。

この大河の氾濫は、岩手においてはなかったが、広範に渡ってかなりあちこちで道路の冠水や土砂崩れがあり、その地域の皆さんをはじめ、被害や影響を及ぼしているところがあちこちにあるというのが特徴と思う。それぞれしっかりとした対応をお願いしたい。

私のヘリコプターの状況確認に合わせ、防災ヘリコプターが陸前高田市そして大船渡地域、県警ヘリが久慈地域の状況を確認し、概ね沿岸の被災状況を把握できた。被害状況は調査中のものがまだまだあるが、人的被害や孤立集落については早急に把握するように努めて、人命第一で救助等必要な対応をして参りましょう。

また、ライフラインなど県民生活に影響が大きいところを中心にしっかり対応して参りましょう。

17時20分閉会

※ 第4回本部員会議は10/14（月）10：00を予定。